

ハンドボール NO. 61

Japan
Handball
Association

社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合
番号 市-女26

年月日 2021 年 8 月 17 日 (火)
 大会名 令和3年度高校高等学校総合体育大会 富山県大会第72回日本高等学校ハンドボール連盟大会

公式記録用紙

A	大分高等学校										神戸星城高等学校										B
福井県			福井市				福井市体育館										2回戦				
前半	A	B	最終結果		A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B						
	9	9	14 20																		
7m得点/総数	A 2/2		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 2/4	7m得点/総数								
			1	2	3				1	2	3										
			2211	0534	1829				2524												

No.	大分高校	G	W	2	D	DR	No.	神戸星城高校	G	W	2	D	DR
16	工藤 聖杏						2	黒木 優					
2	八島 百葉						3	鶴谷 真涼					
3	園田 花音	6					4	瀬戸 心					
4	新 優来						5	矢野 真尋	2				
5	進司 愛莉						9	和田 夏由美	1				
6	山田 桃	3					11	後藤 結香	6				
7	山口 映	2		1			20 c	網谷 風花					
8	久保 優風						21	加藤 鈴乃					
9	後藤 真子	3					22	望月 瑚雪					
10 c	吉積 亜美				1		23	高橋 ひなた	2				
11	疋田 愛優実						24	小嶋 彩華		1			
12	疋田 愛美香						27	川岸 真依	5				
13	中村 學々						28	楠本 楓歩	4				
14	古賀 美陽						29	中村 奏					
役員A	瀧元 泰昭						役員A	野路 良子					
役員B	安部 良太郎						役員B	楠木 胡桃					
役員C	塩津 美空						役員C	野路 嗣治					
役員D							役員D						

A	瀧元 泰昭	チーム役員A署名	野路 良子	B
---	-------	----------	-------	---

レフェー	河合 威延	臼井 健	河合威延 臼井 健
TD	北嶋 浩	中山 光広	北嶋 浩 中山 光広
MO			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 63

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月 17日 火曜
会場	福井市営体育館
種別	女子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		大分高校	14	9-9 後半 5-11	20
	第1延長		第2延長		7 MC
	-				-
	-				-

※第1延長・第2延長及び7 MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	女子2回戦4試合目は神戸星城のスローオフで試合開始。神戸星城は23番高橋の遠目からのステップシュートで先制すると、大分高校は9番後藤のカットインで取り返す。ここから一進一退の攻防となり、前半10分過ぎに4対4の同点となる。からは、しばらく互いに点が取れない息の詰まるような時間帯が続く。前半15分過ぎに神戸星城5番矢野が速攻を決めるが、大分高校は3番園田のサイドシュートで取り返す。ここから神戸星城は23番高橋、28番楠本の3連続得点で突き放しにかかる。大分高校はここでタイムアウトを要求。タイムアウト後に大分高校は9番後藤、3番園田、6番山田の3連続得点で追いつきで8対8の同点とする。その後、両チームとも1点ずつ得点し、9対9の同点で折り返す。
	後半	後半、神戸星城は固いディフェンスから得点を許さず、28番楠本、27番川岸の3連続得点で一気に突き放すことに成功する。両チームとも相手チームの固いディフェンスを攻略できず、得点出来ない時間帯が続くが、大分高校は後半9分過ぎ3番園田、6番山田の両サイドの連続得点で猛追する。ここから互いに点を取り合うが、神戸星城11番後藤が3連取したところで、大分高校はたまたまにタイムアウトを要求。流れを変えたい大分高校だったが、逆に神戸星城27番川岸の速攻が決まり点差を広げられてしまう。大分高校もノーマークシュートのチャンスを作るが、神戸星城はGK20番キャプテン網谷のファインセーブで簡単には得点を許さず、リードを保った神戸星城が14-20で勝利した。

記入者 表 健治